

E講座 学ぶための“まなび方” 定員80名程度 各講座とも3回シリーズです（3回で400円）

学びの基本“読み・書き”を実技も交えながら体験する講座です。

E-1	新聞の楽しい読み方 ～こうして記事は作られる～	(株)秋田魁新報印刷代表取締役社長 元秋田魁新報社編集局長 穴戸豊和氏
E-2	初めての俳句 ～楽しい「5・7・5」への挑戦～	元秋田県生涯学習センター所長 武藤素魚氏
E-3	古典文学を読んでみよう ～万葉・源氏から、芭蕉・近松まで～	秋田大学名誉教授 佐々木久春氏
E-4	文章入門 ～原稿用紙の使い方からエッセイまで～	作家 柴山芳隆氏
E-5	書を学び始めるには ～鑑賞と基本的実習を通して～	秋田県書道連盟理事長 秋田大学特別教授 長沼雅彦氏

時間割	10:00～11:30	13:00～14:30
10/26 (土)	新聞①	古典①
11/ 2 (土)	俳句①	
11/ 9 (土)	文章①	書①
11/16 (土)	俳句②	
11/23 (土)	新聞②	古典②
11/30 (土)	俳句③	
12/ 7 (土)	文章②	書②
12/14 (土)	新聞③	古典③
12/21 (土)	文章③	書③

「学びの基本」をテーマに、新聞・古典・俳句・文章・書の5分野を各3回ずつで構成した講座です。ここでは、各分野の講座をダイジェストで報告します。

「新聞の楽しい読み方」では、(株)秋田魁新報印刷の穴戸豊和代表取締役社長が新聞社の記事の特徴や新聞記事の作り方についてわかりやすく説明されました。

「初めての俳句」では、元県生涯学習センター所長の武藤素魚氏が俳句のルールを説明した上で、「句会」の形式で武藤氏が用意した俳句から心に残った句を受講者が選びました。

「古典文学を読んでみよう」では、秋田大学名誉教授の佐々木久春氏が「古典はとにかく読んでいくもの。難しく考えずに読み込んでいくことが大切。」と説明され、『万葉集』や『伊曾保物語（イソップ物語）』を楽しく解説していきました。

「文章入門」では、作家の柴山芳隆氏が、原稿用紙の正しい使い方や間違った表現方法などを丁寧に説明し、「空」というテーマで受講者に文章を作るように課題を出しました。

「書を学び始めるには」では、秋田大学特別教授の長沼雅彦氏が、書の歴史をひもときながら、受講者の書写について、実際にアドバイスをしていました。

どの講座も体験学習が入っているため、受講者もいつもの講座とはちがった雰囲気の中で講座に臨んでいました。特に俳句については、自分の作品が評されることに対する緊張感や、他人の俳句を評するプレッシャーがうかがわれました。また、書では受講者同士で作品を見せ合ったり、筆の使い方を教え合ったりと、和やかな雰囲気が印象的でした。



新聞社別に記事の特徴について説明する穴戸氏



文章の基本について説明する柴山氏



受講者の書写についてアドバイスをする長沼氏